

令和4年度 第1回鈴鹿市上下水道事業経営審議会 議事録

○日時：令和4年4月26日（火） 10：00～10：50

○場所：鈴鹿市上下水道局 本館3階 第4会議室

○出席者：

[委員] 8名 （オンライン出席） 4名

石川 裕，木村 好己，齊藤 由里恵，柴 健次

（会場出席） 4名

木村 喜美子，鈴木 良一，森川 美和子，吉島 隆子

（欠席） 1名

安田 武史

[事務局]

上下水道局次長 竹内 吉延

経営企画課長 笹間 栄二

経営企画課経営グループリーダー 益川 真也

経営企画課経営グループ 西尾 恵理子

経営企画課経営グループ 中村 哲也

経営企画課経営グループ 中井 拓磨

経営企画課経営グループ 池部 美帆

経理課長 永井 洋一

営業課長 田原 哲治

水道工務課長 西口 建司

水道工務課計画グループリーダー 中村 直人

下水道工務課長 岡田 旬史

下水道工務課計画グループリーダー 垣見 英俊

○傍聴者：3名

○内容：次のとおり

1 開会

開会の挨拶

2 会長挨拶

挨拶

3 議事

(1) 報告

ア 行政経営会議及び市議会全員協議会での意見

事務局から「参考資料1 行政経営会議及び市議会全員協議会での意見」についての説明がなされ、会長が質疑・意見を求めた。

《質疑・意見》

【柴会長】

意見のとおり、審議会としても住民に対して丁寧な説明に努めるようお願いする。

イ 広域化、共同化、民間活用の三重県及び鈴鹿市の取組状況について

事務局から「参考資料2 広域化、共同化、民間活用の三重県及び鈴鹿市の取組状況について」の説明がなされ、会長が質疑・意見を求めた。

《質疑・意見》

【石川委員】

1～3ページの水道事業について、広域化と共同化の定義がよく分からない。広域化はシステムや水道のネットワークを広げていくという意味であるため、検針業務や水質検査は広域化ではなく、共同化に当てはまるのではないか。

【事務局】

広域化、共同化については、三重県が進めている内容として、３ページに記載されている項目で分けられている。

例えば、排水設備指定工事店の登録、更新は、県内の市町をブロックごとに分け、共同で行うことが検討されているが、県が「共同化」と整理しているため、そのまま使用している。

【石川委員】

広域化及び共同化の定義の整理を検討してもよいのではないかと思う。国の方針にも広域化と記載があるが、共同化を含む広域化である。

【柴会長】

審議会としては、三重県の取組への姿勢もあるが、市として、広域化、共同化、民間活用について検討を行い、取組を進めてほしい。

(２) 議題

事務局から「資料１及び資料２ 鈴鹿市上下水道事業の経営の在り方について 答申書（案）について」についての説明がなされ、会長が承認を求めた。

《承認》

【柴会長】

今回の資料１及び資料２は、過去の審議内容を整理し、要点がページ下の枠内に記載されている。また、答申書案には、平成３０年に策定した経営戦略の数値を参照できるよう、冊子のページ数が振られている。

事前に答申書案を各委員に配布したが特段意見がなかったと聞いている。異議がないようであれば、一括して承認いただきたい。

(「異議なし」の声あり)

【柴会長】

答申書の内容がまとまったため、上下水道事業管理者宛てに答申することとする。

4 その他

答申書手交式の連絡

5 閉会

閉会の挨拶

—— 了 ——